

アジア国際社会福祉研究所 kara

No.47 2022.11.17.

編集・発行責任者 戸塚 法子

インドネシア政府より視察団が来訪されました！

11月10日に、インドネシア共和国社会省より8名の視察団が淑徳大学に来校されました。午前中に特別養護老人ホーム淑徳共生苑を視察、午後には本学にて山口光治学長からの歓迎スピーチを受け、ダダン・イスカンダル社会省総監より淑徳大学との交流および連携確立に向けた同省大臣の強い意向が伝えられました。交流会では、総合福祉学部・結城康博教授の講義「日本における社会保障」に続き、アジア国際社会福祉研究所とのセッションが行われました。

アジア国際社会福祉研究所より、戸塚法子・所長からの歓迎の挨拶後、松尾加奈・上席研究員が当研究所の概要と取り組みを紹介し、郷堀ヨゼフ・主席研究員が研究知見の一例として仏教ソーシャルワーク研究を紹介しました。また、視察団側からはインドネシア共和国における社会リハビリテーションにかかる制度および実践についてご紹介いただきました。相互に活発な質疑応答が行われ、双方の学びの機会となりました。

最後に、インドネシア側からは、今回の講演と共生苑訪問がきわめて充実した学びにつながったという御礼の言葉とともに、インドネシア側と淑徳大学の学生たちによるバーチャル交流での学びあいや、高齢者福祉におけるICT技術導入に向けた助言、学生・教員のインドネシア訪問など、両者連携の様々なご提案がありました。そして、淑徳大学国際交流センターおよび当研究所との今後の協力関係についての意見交換を行いました。その中で、秋元樹・名誉所長はインドネシアとの長年の交流と今後の期待についても触れました。将来的に様々な共同的な取り組みがなされることが期待されます。

今回、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延後に、実質的に初となる海外から視察団受け入れとなりました。十分な感染予防対策を取り、そのときの状況を十分見極めながら、国際的な研究交流等に取り組んでまいります。

末筆ながら、視察団の受け入れに際し、連携させていただいた日本社会事業大学様をはじめ、すべての方々へ厚く御礼申し上げます。



◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。